



ふくろう通信

第47号
2017年10月1日
自然博物館 ねいの里

旅する蝶～アサギマダラ～

「有峰・アサギマダラのマーキング調査」

平成29年9月10



アサギマダラという蝶を知っていますか？

8月から9月にかけて、野山をハイキングしていると、こげ茶に水色の模様が入った大きなチョウが、ひらひら飛んでいたり、ヨツバヒヨドリやアザミの花に群がって蜜を吸っていたりするのを見かけることがあります。これがアサギマダラです。

近年、アサギマダラは長距離を旅するチョウとして知られるようになりました。マーキングという調査により、移動することが確かめられたからです。

ねいの里では平成14年から調査グループをつくり、アサギマダラのマーキング調査を行っています。最近では毎年1,000頭前後にマーキングをしていて、約1.4%が西日本（京都、高知、徳島など）や沖縄で再捕獲されています。

ジュニアナチュラリストの支援活動としても、毎年、有峰でマーキング調査を行っています。今年9月10日に行い、163頭にマーキングをすることができました。

「誰かつかまえてー」
くれるといいなー



ねいの里グループの調査の移動距離ベスト3

- No.1 平成27年 朝日町 白鳥山 → 沖縄県与那国島 (約1,973km)
- No.2 平成26年 宇奈月町 僧ヶ岳 → 沖縄県本部町 (約1,450km)
- No.3 平成20年 八尾町 白木峰 → 沖縄県本部町 (約1,420km)

ねいの里アサギマダラ調査グループでは、マーキング調査に参加される方を募っています。ご希望の方は、ねいの里へご連絡ください。

「アサギマダラマーキング調査」に参加して

①

ナチュラリスト 藤井 徳子

ジュニアナチュラリストのアサギマダラマーキング調査に息子と一緒に参加しました。2年前に富山県ナチュラリストの中林さんと一緒に牛岳を歩いているときに、薄い青色の大きな蝶がゆったりと飛んでいました。アサギマダラとの初めての出会いでした。その優雅な美しさだけでも感激でしたが、アサギマダラが2,000キロもの旅をすることを聞き、実際にその旅を追跡調査するためのマーキングもさせてもらい、ますますアサギマダラへの興味がわきました。今年ねいの里のマーキング調査に登録し自分のマーキング番号もいただき、待ちに待った有峰行きでした。

当日は晴れて昼からは気温も上がり汗ばむくらいの陽気で、絶好の“マーキング日和”となりました。有峰では3チームに分かれ、私たちは東谷へむかいました。ヨツバヒヨドリやサラシナショウマの花が咲いていると、白い布をヒラヒラと振り回していると、アサギマダラが飛んできます。おもしろいですね。何度も調査に来ている子はさっと軽く網を一振りして上手に捕獲していました。東谷チームは29頭のマーキングでしたが、祐延チームはなんと100頭以上も！「マーキングが忙しくて忙しくて」と、なんとも羨ましいコメントが聞かれました。

アサギマダラはどんどん南へと旅を続け、そのうちの1～2%ほどが再捕獲されるそうです。3チームで160頭ほどにマーキングをしたので、2～3頭がどこかで再捕獲されたというニュースが今後聞けるかもしれません。期待がふくらみます！

②

沢田 陽子・匠



アサギマダラのマーキング調査に参加させていただきました。聞きかじったばかりのアサギマダラのマーキング調査で、ただただ興味本位での参加でしたが、熱中してしまいました。

一生懸命探していると、なかなか見つからない。下のほうに降りてこないのに、ちょっとよそ見をしていたり他の事を考えたりしているとふっと目の前に現れたり…。不思議な感じでした。飛び方もフワフワと優雅に、でも、案外素早かったり。羽にマジックで番号を書くということもドキドキしました。羽を傷めてしまえばもうここから移動できなくなってしまう。最初は心配でしたが、意外に羽はしっかりしていたことにも驚きました。

事前にいろいろ調べてから行けばよかったのですが、話を聞けば聞くほど不思議な蝶だったので、帰ってから調べてみました。南北1,000キロも2,000キロも飛翔し、今日の祐延班のようにたくさん集団で飛んでいたりと、中継地点みたいな場所があったり、日本列島を行き来していてもそれは同じ蝶ではなく世代交代した蝶、なのになぜ、同じところを行ったり来たりできるのか。海の上ではいつ休んだり、何を食べているのかとか…。ホントに謎めいた蝶であることに再度驚きました。

どちらかというとき皆さんとおしゃべりするのが楽しかった息子でしたが、帰ってから、「そういえば、黄蝶を捕まえたときは鱗粉がついたのに、アサギマダラにはなかったんだよね〜？」と不思議がっていました。

今日、マーキングしたアサギマダラたちが、南の地に無事につくことを祈るばかりです。

また、野山を歩いた時に気を付けて探してみようと思います。貴重な体験、ありがとうございました。

「キノコ狩りとキノコ鍋を楽しむ」

平成29年10月1日(日)



秋の恒例行事になっている「キノコ狩りとキノコ鍋を楽しむ」を行いました。

秋といえばキノコ狩り！ 楽しいですね。けれども、「キノコはわからない」とか、「キノコは怖い」といって敬遠する人が多いようです。そんな人に一言。まず2～3種類のキノコを確実に覚えましょう。それだけで十分キノコ狩りが楽しめます。キノコ観察会に参加したり、詳しい人に教えてもらったりして覚えましょう。ねいの里のキノコの行事もいい機会ですよ。とにかくキノコに慣れ親しむことです。

今年のねいの里はキノコが不作だと思っていました。実物展示用のキノコを集めるため林の中に入っても、目ぼしいものが見当たらず、小さなものが少しだけ。他の職員に聞いても、「キノコなんか出ていないよー」と気のない返事。当日は手ぶらの人がたくさんいるのじゃないかと気をもんでいました。

ところが、皆さんたくさん採ってこられ、「エッ、どこにそんなにあったのオー」とびっくりするやら驚くやら。講師の方による鑑定も和やかに行われ、具たくさんキノコ鍋にも満足されたようでした。

(当日採れた主な食用キノコ)

アマタケ(シバタケ)、ナラタケ、コクリノカサ、ウラベニホテイシメジ、ミネシメジ、ウズハツ、

オーイ！ それはオオワライタケという毒キノコだぞー



(キノコ鍋に入れた天然キノコ)

ハナイグチ
シロヌメリイグチ
ハナビラタケ
ヌメリコウジタケ
ホオベニシロアシイグチ



小さな小さなビオトープ ～ガガブタの展示鉢～

最近、ビオトープという言葉をよく耳にしませんか？学校の校庭の隅や工場の緑地に「ビオトープを作りました。」という記事も目にします。

ねいの里でもビオトープとして水辺の生態園を整備しています。

今回は小さなビオトープを紹介しましょう。ねいの里の展示館入口にある直径50cmの水鉢です。それは、ビオトープにしようと思ったわけではないのですが、いつの間にかそうなっていました。

元は**ガガブタ**を展示する水鉢でした。夏になるとアオミドロという藻が発生したり、ボウフラがわいたり、水が汚れたりしました。また、鉢の淵や水底に水垢のようなものがたくさん付着し、頻りに水替えをする必要がありました。

そこで、まずボウフラ対策としてメダカを数匹入れました。また、冬にはガガブタの葉が無くなってしまいうので、メダカの隠れ場所としてクロモという藻を入れてやりました。このボウフラ対策は大成功でした。

次に、水垢対策としてタニシを入れました。入れたのは大きいもの4個だったのですが、いつの間にか子供が生まれていて、小さいタニシが増えていました。また、クロモに付着していたのか、モノアラガイもたくさん発生しました。この貝たちは水鉢の中を見事にきれいに掃除してくれました。

気が付いてみると、アオミドロの発生が少なくなり、水が汚れなくなっていました。今年は一度も水替えをする必要がありませんでした。(蒸発して少なくなった分の水を補給するだけで済みました。)貝類の水質浄化能力は素晴らしいですね。現在、水は澄んで水底がきれいに見えています。夏には主目的の**ガガブタ**も綺麗な花をたくさん咲かせていました。小さな水鉢の中に小さなビオトープが出来上がったようです。



写真 左 : 水鉢の中を這い回ってきれいにしているモノアラガイとタニシ。

写真左下 : 水中を元気に泳ぎ回るメダカ。

写真 下 : **ガガブタ** (富山県絶滅危惧Ⅰ類指定の水草) (環境省絶滅危惧種指定)

(今、水鉢の中の**ガガブタ**は、たくさん殖芽を作り冬越しの準備をしています。)

タコの足のような**ガガブタ**の殖芽 (越冬芽)



ねいの里 これからの行事案内

● 10月29日(日) 生き物調査隊「木の実と落ち葉探し隊」

9:30 ~ 12:00 集合場所:ねいの里

定員:20名(ジュニアナチュラリストを優先)

木の実と落ち葉の宝探し、囲炉裏で焼き芋などを楽しもう!



● 11月5日(日)「ネイチャーゲームと草木染め」

9:30 ~ 12:00 集合場所:ねいの里

定員:30名

参加費:染めるハンカチ1枚につき200円

染料にするタマネギの茶色い薄皮を持ってきてください。

(集められる分で結構です。)



● 11月19日(日)「蔓植物の観察会」ークリスマスリースの輪っか作りー

9:30 ~ 15:00 集合場所:ねいの里

蔓植物の観察をしながら、輪っかの材料を採取します。

自分好みの輪っかを作りたい人は、ぜひご参加ください。



● 12月3日(日)「クリスマスリース作り」

9:30 ~ 12:00 集合場所:ねいの里

定員:30組

参加費:自然塾の会員 リース1個は無料(2個目から300円)

会員以外 リース1個300円

材料に限りがあるので、参加される方は必ず申し込みをしてください。



● 12月16日(土)「正月飾りづくり」

9:30 ~ 12:00 集合場所:ねいの里

定員:20組

参加費:300円

しめ縄などの正月飾りを作ります。



● 1月4日(木) ~ 6日(土)「春の七草頒布と正月遊び」

9:00 ~ 17:00(4日は13:00から) 頒布場所:ねいの里

頒布数:200セット(1人2セットまで、予約が必要です。)

料金:1セット200円

ねいの里周辺で集めた七草を頒布します。

懐かしい正月遊びも体験できます。



〈行事への参加希望の方は、ねいの里までお申し込み下さい。〉

受付開始は、行事实施の約1ヵ月前からになります。

■ 企画展

9月6日 ~ 11月23日 キノコ写真展

11月25日 ~ 3月31日 ロードキル写真展 ー動物たちの受難ー

12月13日 ~ 1月22日 春の七草実物展

○ 「ねいの里自然塾の会」会員の駐車場利用について

会員の方は、「ねいの里」行事への参加や施設の利用を前提に、ナチュラリスト駐車場を利用来ます。



発行 富山県自然博物館ねいの里 館長 富永 宣宏

〒939-2632 富山県富山市婦中町吉住1-1

Tel 076-469-5252 / メールアドレス shizen@toyamap.or.jp

ホームページ <http://www.toyamap.or.jp/shizen/>